

# 広報



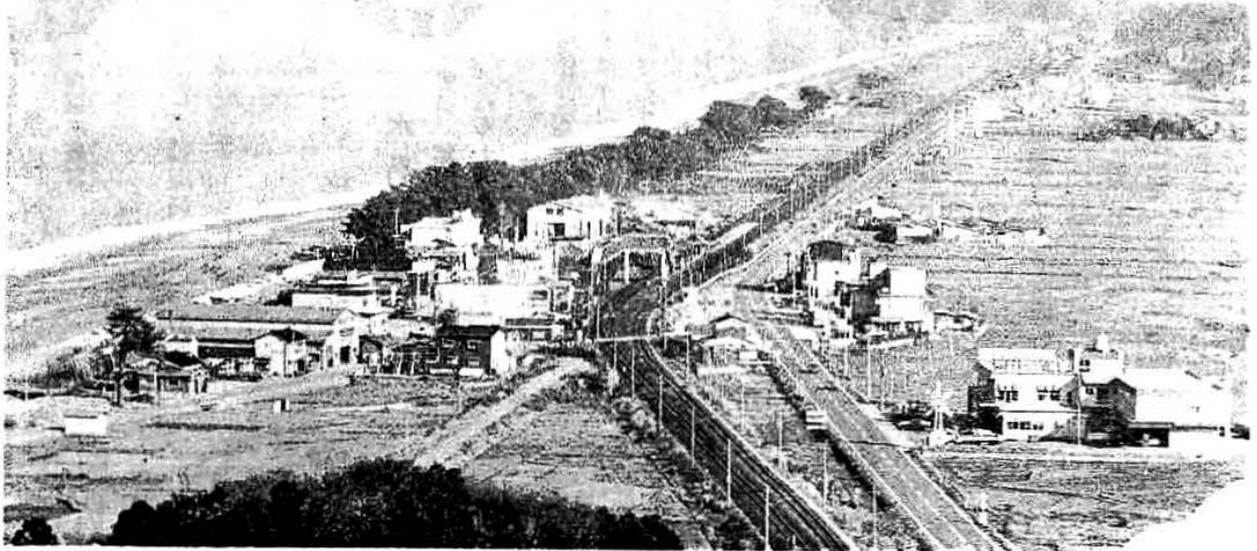
# あさひ

No. 232

昭和49年  
12月10日発行



△上は昭和三十一年頃の  
越中宮崎駅周辺の遠望▽



△下は現在のようす▽

## 今月のおもな記事

- 晴れの叙勲、表彰の栄
- 朝日町長中川雅一氏三期連続当選
- 五年年金と軍人恩給の改訂請求
- 子供を保育所に入れたい方へ
- 農地転用は必ず許可を受けて
- 青年芸能大会と青年議会
- 年未年始の交通安全運動
- 富山県青年の船に参加して
- 成人者名簿照会
- 流雪溝建設工事進む
- 本年度文化祭行事の反省

## 変貌する越中宮崎駅周辺

曲りかねた旧国道が境まで続き  
国鉄線がまつく  
市振まで続いていた。  
国道八号線の開通と共に、テラツ  
クスなドライブインが立ちならび、  
越中宮崎駅が新設されるや、見る  
間に旅館や食堂が所狭しとオープン  
した。

国鉄も複線電化され  
宮崎トンネルも、山寄りに新しく開  
さくされた。  
宮崎浜は、シーズンともなれば一  
大観光地に変貌し、  
二十年の歳月は越中宮崎駅周辺を  
急速に都市化していった。  
旧国道に残された一本松は、  
うつり変わる宮崎村の歴史を胸に秘  
めて、今もひっそりと立っている。

# 朝日町二十年の

# うつりかわり

# 晴れの叙勲、表彰の栄

## 教育功労者叙勲



勲六等宝冠章  
水野すなさん(71)

朝日町社会教育委員

(栄町)

昭和四十九年秋の叙勲伝達式がさる十一月十五日東京国立劇場で行われ、水野すなさんが教育功労者として、勲六等宝冠章が授与されました。

水野さんは、二六年間小学校教育に従事されたあと二十数年間にわたり、婦人会長、保育園長、社会教育委員をはじめ数多くの役職を歴任され、献身的に社会教育活動、児童福祉行政発展に貢献された功績によるものです。

## 富山県政功労者表彰

富山県では、それぞれの分野で県政発展に功績のあつた五十二人と、一団体を、十一月三日文化の日に、県庁大ホールでその功績を讃え表彰を行いました。

朝日町から草野久也(医事功労) 魚住輝雄(交通安全功労)、水島五松(海外移住功労)の三氏がこの榮譽に浴されました。

三氏の横顔と功労の概要は次のとおりです。

### 医事功労

草野久也氏(70)

黒部厚生病院  
内科医長

(本町)

二十七年間にわたり、黒部厚生病院に勤務され、新川地域住民の健康管理と増進に努められると共に、医学、学術の向上に貢献されました。



交通安全功労  
魚住輝雄氏(51)

洋服店経営

(栄町)

十五年間にわたり、富山県交通指導員として、街頭指導による歩行者保護、安全運転の高揚に努められました。

### 海外移住功労

水島五松氏(64)

養鶏、鶏肉卸売業  
ペルー共和国リマ市

(境出身)

昭和三年にペルーに移住養鶏業を営むかたわら、ペルー富山県人会の再興をはかり、現在会長として本県移住者の定着安定に貢献されました。

## 富山県教育功労者表彰

長崎光雄氏(48)

大家庄小学校教諭

(教務主任)

(蛭谷)

去る十一月二日行われた富山県教育功労者表彰式において優良教職員として表彰を受けられました。

氏は昭和二十二年小学校教諭として奉職以来、学校教育の研究と共に「蛭谷の入会権」、「村興しにおける私のあゆみ」、「自然と人文の接点」、等の人文科学に関する論文を発表されるなど、その意欲的な教育熱心、努力が認められたものです。

## 朝日町長

中川雍一氏

三期連続当選



中川雍一氏  
(50才)

十二月二十五日を以て任期満了に伴う朝日町長選挙は、十一月二十一日告示され、立候補届け出期限の二十二日午後五時までに、現職の中川雍一氏のほかに立候補者がなく、十二月一日の投票を待たず、中川現町長の三期連続当選が決まりました。なお、これに伴う選挙会は、十二月二日朝日町役場特別室で開かれ、引き続き行われた選挙管理委員会の席上で委員長より中川雍一氏に当選証書が附与されました。なお、任期は昭和五十三年十二月二十五日までです。

## 町営工事入札状況

最近入札された百万円以上の工事

- 一、林道横田線災害復旧工事  
工事費 一、七五〇千円  
工期 十月二十三日～十二月十日
- 二、町道宮本町上横尾線路肩補修工事  
工事費 一、〇九〇千円  
延長 四七、六米  
石積 一二四、六平方米  
工期 十一月一日～十二月三十日
- 三、町道竹の内八号線改良工事  
工事費 二、九二〇千円  
延長 二七五米  
幅員 四、〇米  
工期 十一月一日～昭和五十年一月三十日
- 四、町道泊根町線改良工事  
工事費 九、九〇〇千円  
延長 三〇二、七米  
幅員 十米  
工期 十一月十五日～昭和五十年三月十五日
- 五、林道上木谷一号線改良工事  
工事費 三、六〇〇千円  
延長 二二九米  
幅員 四、〇米  
工期 十一月十五日～昭和五十年三月二十日
- 六、林道城山線災害復旧工事  
工事費 一、〇二〇千円  
工期 十一月十五日～十二月二十日

# 福祉の窓

## 五年年金の支給が近づきました

五十年一月から待望の五年年金の裁定が開始されます。

昭和四十五年一月に五年年金の納付がはじまり、当初からかけ始めた方は四十九年十二月まで五年年間の納付が終了します。

五年間が経過し六十五才に達している方は、年金の請求をしていたらくことになりませんが納付を始めた月によって請求の月も変わってきます。

納付をはじめた月	請求する月	支給開始の月
四十五年一月	五十年一月	五十年二月
四十五年二月	五十年二月	五十年三月
四十五年三月	五十年三月	五十年四月
四十五年四月	五十年四月	五十年五月
四十五年五月	五十年五月	五十年六月
四十五年六月	五十年六月	五十年七月

四十八年十月に始まった再開五年年金の加入者については四十五年六月分からさかのぼってかけ金をすることができますが、この場合は五十年六月末までに納付を終え、請求の手続きをしていただきます。

なおつぎのことについて今一度、確かめてみましょう。

- かけ金の納め忘れの期間がないか
- 前納した方は四十九年一月よりかけ金が九〇〇円になったため、前

にかけた七五〇円との差額、一五〇円(一年分で一八〇〇円)が納まっているだろうか、詳しくは市役所、町村役場の窓口でお尋ねください。

### 軍人恩給の改訂請求と一時恩給の申請

(一)普通恩給受給者中、七十才以上の加算年の年額算入に伴う申立、申込みについて、

1. 昭和四十八年十月の施行の際、昭和五十年三月三十一日迄に七十才になる方も、申請することができましたが、今度は昭和五十三年三月三十一日迄に七十才になる方も申請できることになりました。
2. 次の方は、加算年が恩給金額に算入されずから、該当者は申請して下さい。
  - ・七十才以上の方。
  - ・扶助料受給者(公務扶、普扶)
  - ・傷病年金と普通恩給を併給されている方。

(二)恩給法改正に伴う一時恩給の申込みについて

一時恩給の該当者は従来引き続き在職三年以上七年未満・下士官以上としての加算年を含む一年以上の方でしたが、これが昭和四十九年九月一日から「下士官以上として加算年を含む六カ月以上」と改正されました。

くわしいことは左記へお問い合わせ下さい。

朝日町神田町 水野 正

電話二一〇一五三

### お子さまを

#### 保育所に入れたい方は

#### 申込みは

#### 近くの保育所へ

昭和五十年四月から、お子さまの保育所入所を希望される方は、十二月十日から二十日までの間に最寄り

の保育所へ申し込んでください。

申込書は各保育所にあります。

なお給与所得者は、昭和四十九年分給与所得の原徴徴収票を二月二十八日まで提出してください。

くわしいことは、各保育所又は役場住民課でおたずねください。

### 農地の転用は必ず許可を受けて

#### 一、農地転用の注意

農地法では農地を宅地や山林などのように農地以外のものに転用しようとするとき、又は、農地を転用する目的で所有権を移転するときは、知事の許可を受けなければならぬことになっております。

したがって、自己所有の田畑であっても、その地上に建物を建築、又は、植林する場合には、速やかに農地法(第四条及び第五条の規定)に基づき許可申請書を農業委員会に提出し、知事の許可を得て地目変更の登記申請手続きをしなければなりません。

近年のほ場整備事業の進展に伴い無許可の転用がありますが、今だに転用申請書を出しておられない方は早速提出して下さい。

△写真は保育所風景▽



#### 二、農業振興地域整備計画との関連

本計画は、土地利用の高度化と農業の近代化をめざして昨年二月に策定されました。(「あさひ」第222号参照)

計画で定める農用地区域(今後、農用地として利用すべき区域)内での農地の転用は原則として認められておりません。事情により、この農用地区域内での農地の転用をされる場合は、当該農地を除外しなければなりません。

しかし、土地基盤整備事業を実施中の区域内の土地および当該事業が完了した年度の翌年から起算して8年を経過していない地区内の土地は農用地区から除外できます。

計画変更は年一回です。農用地区域から除外したい土地がありましたら、2月末日まで農業委員会へ申し出て下さい。

くわしいことは農業委員会へ問い合わせください。(TEL三一〇五二九)

### 町民のみなさんへ 子供たちに 楽しい冬休みを

朝日町 青少年補習協議会

歳末、新年をおとじて、子供たちにとっては短いながら楽しい冬休みになります。

1. 正しい生活、遊び、交遊
2. 子供たちの平日の帰宅は午後四時半までです。守らせましょう。
3. クリスマスパーツや、誕生会などは節度あるものに。
4. 遊びの秘密基地は非行につながります。よく気をつけましょう。
5. パチンコその他大人の遊戯場への出入りはやめさせましょう。
6. 交通安全
7. 自転車の二人乗り、かささし運転無灯火、横隊乗りは危険
8. オートバイの無免許運転、大型オートバイの運転は危険。
9. その他

近年青少年の万引や性犯罪、喫煙飲酒などが増えていきます。町ぐるみで注意しましょう。

### 朝日町人事異動

新 旧

泊病院 新 探 金三津慶子

看護婦 新 探 安達良之助

泊病院 新 探 安達良之助

技師 新 探 安達良之助

(昭和四十九年十一月一日付)

### 社会教育

## 婦人国内 研修会の成果

— 高山市 —

他県の婦人団体活動、学習活動を  
見聞し、指導者としての資質の向上  
を図り、婦人会活動の振興を期そう  
と、このほど婦人国内研修会が高山



市を中心に行われました。  
十九名の婦人会幹部は、岐阜県高  
山市公民館で同市婦人会幹部と、お  
互いの活動状況を交換し、当面する  
問題点、①婦人会組織の強化策、②  
生活の無駄を見直す活動、等々の解  
決策について話し合い、婦人会の果  
すべき役割、幹部としての使命感等、  
今後の婦人会活動に一筋の光明が見  
出されました。

一方、市民総ぐるみで保護顕彰に  
あたっている文化財の数々を視察  
し、心うたれるものがあり  
ました。  
万山紅葉の高山路を  
あ  
とに、心晴々と、明日か  
らの活力がわきでてくる  
のでした。

△写真は  
飛弾白川郷の視察  
に向う一行▽

## 少年団指導者研修会

— 朝日町 —

少年育成の基本となるべき考え方を  
を明らかにするとともに、相互の連  
携を密にし、今後の少年育成の充実  
振興をはかろうと、ボーイスカウト  
、スポーツ少年団、児童クラブ、補  
導センターの指導者と小中学校生徒  
指導主任の先生方が一堂に会し、酒  
小学校図書室で研修会が開かれた。

「ボランティアへの道」の映画の  
あと、各団体の現状と問題点が話し  
合われるなかで、それぞれの団体の  
目的が明らかにされ、本来的活動が  
うきほりにされたものの、山積する  
問題点の解決策は簡単に見出される  
ものではなかった。しかし、子ども  
は遊びによって社会性が養われるも  
のであることを考え、指導者は、子  
どもと話しかけるのでなく、子ども  
と話し合う姿勢が大切であることと  
指導者は万能でない以上他団体と連  
携協力して指導にあたらねばならぬ  
のは当然であるが、さしあたりプ  
ログラムの交換をしよう、と申しあ  
わせ、少年指導の重要性を再確認し  
て散会した。

### Young

### ヤング

## 盛会だつた 青年 芸能大会

連合青年団では十一月二十日泊小  
学校講堂において老人の方々を特別  
招待して、第一回青年芸能大会を開  
きました。

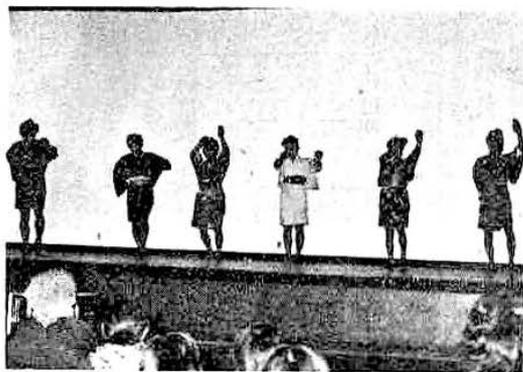
各校下閉員のくりひろげる、踊り  
や演劇に老人の方々は火よるこびで  
一つ一つに熱心な拍手を送っていま  
した。

審査の結果、最優秀賞、優秀賞、  
努力賞はつぎのとおりです。

- 最優秀賞 獅子舞 (五カ庄校下)
- 優秀賞 踊り (南保校下)
- 努力賞 演劇 (泊校下)

△写真は

南保地区のトイチンサの熱演▽



### 第十二回

## 朝日町青年議会

— 本会議 —



第十二回朝日町青年議会は、去る  
十一月十日本年度総決算として町  
長、助役をはじめ各関係課長及び町  
議会議長酒井栄氏らの出席のもと、  
町議会議場において本会議が開かれ  
ました。

本会議においては、学校統合同  
題、中央公民館の設立、交通安全対  
策、棚山問題など活発な質疑応答が  
なされ、また、町議会広報発行の早  
期実施の議員提出議案が出され、  
全会一致で可決されました。

青年議会の主旨は、青年達が議会  
ルールを学ぶと共に、町政に青年の  
声を反映させる事です。今年、青年  
年議会は、短かい期間でありました  
が、充分その目的は達せられたもの  
と思われ、今後青年議員各位の各方  
面での活躍が期待されています。

△写真は青年議会▽

## 消防署から

暖房器具の取扱いには  
特に注意しましょう

今年も  
年末警戒を行います

寒さも日増につのり、火災多発期  
となりました。

各家庭における暖房器具の取扱い  
には次の事に注意しましょう。

- フスマ、カーテンなど燃えやすい物の近くでは使わないこと。
- 燃料は必ず火を消してから注油すること。
- 点火のまえに油もれ、油かすをふきとり、点検を忘れずにするこ

と。  
■洗たく物等はストーブの近くで乾  
燥させないこと。

## サイレンを鳴らします

今年も全国一斉に十二月二十一日  
から三十一日まで年末警戒を実施し  
期間中は次の要領でサイレンを吹鳴  
します。

(一)吹鳴日時

十二月二十八日から三十一日まで  
午前七時、午後九時

(二)吹鳴方法

演習招集信号  
十五秒 六秒 十五秒 六秒  
十五秒 六秒 十五秒 六秒

(三)吹鳴区域

朝日町全域(各分団ごと)

# 年末年始の交通安全運動

十二月十一日～一月十日

年末年始における輸送の増加と、飲酒の機会が多くなり、また年末の気ぜわしさや、正月の解放感等から交通事故、特に死亡事故が激増するため、交通道徳の高揚と、正しい交通ルールの実践に努め、県民の総力を結集して、悲惨な交通事故を絶滅しようとするものです。

## ●飲酒運転の絶滅

- 家庭からの飲酒運転の追放
- 職場からの飲酒運転追放
- ドライバーへの酒類提供業者の自主的活動

## ●暴走、過労運転の追放

- 歩行者保護の徹底
- 事業所(場)における運行管理

## 理の徹底

- 冬期間スピード一割ダウンの推進と積雪凍結道路におけるスリップ事故の防止
- 冬期間の歩行者(とくにこどもと老人)と自転車利用者の事故防止

## ●正しい横断と歩行マナー

- 自転車の整備と正しい乗り方の徹底と老人等の夜間における自転車使用の自粛

以上のことを固く守り悲惨な交通事故をなくし明るい新年を迎えましょう。

## ●運転期間中の特別デー

十二月十五日「家庭安全強調デー」

飲酒運転や、無謀運転が家庭に及

ぼす悲劇等を家族間で話しあい、再認識することによって尊法精神を高める。  
十二月二十四日「職場安全強調デー」

## 1

職域、事業所(場)等において、飲酒運転がもたらす重大事故及びこれに基づく個人の経済的、社会的地位の破滅事例等を挙げて、酒を飲んだら運転しない、運転をさせないことを励行させる。

一月五日「地域ぐるみ交通安全推進デー」

地域、町内会等における、新年会、特別会合等の機会を利用し、富山県交通安全憲章の実践により、地域から交通事故の加害者、被害者を出さない誓いを行う。

日頃からお互いに交通問題に関心をもち話しあい「いたましい」事故をなくし平和な家庭や職場を守ろう

ではありませんか。

## 富山県交通安全憲章

わたくしたちは、人命尊重の精神に基づき、この憲章を定め、県民の力を結集して、交通事故の絶滅に努めます。

1. わたくしたちは自動車を運転するとき、常にゆとりとゆずりあいの心で、安全運転をします。

2. わたくしたちは、自転車を利用するとき、十分に整備し、法規に従って乗ります。

3. わたくしたちは、道路を歩くと、安全を確かめ、正しく歩行します。

4. わたくしたちは、家族ぐるみ地域ぐるみで、交通道徳を高揚します。

5. わたくしたちは、道路を正しく利用し、安全な交通環境をつくります。



写真例は事故の例

## 第4回 富山県青年の船に参加して

### 南米訪問

水島吉範

第4回青年の船は、南米三ヶ国を訪問するため、「青年の船」ならず「青年の翼」となりました。10月11日から28日までの18日間の旅は、余りにも短かい期間でありましたが、私たちに数多くの教訓と再発見を与えてくれました。

「家もビニールハウスも私の手で作りました。電気も自家発電でやっていますが、10年後に今一度見に来てください。素晴らしい農園をお見せすることを約束します。」と力強く語ってくださったブエノスアイレス郊外で花や野菜作りにはげむ県人移住者の1人。

ブラジルでは、サンパウロの市場に集まる野菜、果実、花等は、ほとんど日本人の手によって栽培されているとか、またブラジル特産のコショウは日本人の手によって品種改良されてつくりあげられたもので、今日では重要な輸出品となっているなど、

このように、南米いたる所で日本人の勤勉さと実行力が高く評価されていることには、唯頭がさがるのみでした。

一方南米三ヶ国共通していえることは、大陸特有の明るさと、のんびりとおおらかな心をもって生活しているように見受けられました。

金、金で、とかく人間性を失いがちな最近の日本人とは違い、そこには常に笑顔と明るい言葉があり、人間としての親しみが感じられ、心温まる思いがしました。

物質的に富める国日本は、果して本当の意味の幸福とか、心豊かな生活といえるのだろうか……と今さらながら日本を見直してみる必要を痛切に感じました。

厚く重なる雲の上をとぶ飛行機の中で、ブラジル農業を支える日系人の姿や、広大な草原を持つアルゼンチン、地震災害の復興におわれるペールの姿を思い浮かべながら帰国の途につきました。

思えば、全く環境の異なる国ならではの経験をさせていただき、改めて祖国日本を見つめることのできたことと、団体生活を通して築かれた人間関係等々、実り多い研修でした。

幸いにもこの青年の船に参加させていただいたことを心から感謝しております。

おしまいになりましたが、ブラジル県人会長、水島順太郎さんや、池田さん一家、森岡兄弟の皆様や、ペルー県人会長、水島五松さんの元気な姿に接しこの方々から朝日町のみなさんによるしとの事でしたので、紙上をかりてお伝えいたします。

<写真はブラジリアの教会と野外彫刻>



着飾るよりも

昭和49年度 朝日町成人者名簿照会

心に晴着を

この名簿は、昭和49年11月30日現在の住民票により昭和29年4月2日から昭和30年4月1日までに生まれた、昭和49年度成人該当者を記載したものです。この名簿に記載もれしている方は12月25日までに教育委員会事務局(TEL②1104)へお知らせください。ご連絡のない場合成人者名簿に記載されないことがありますからご了承ください。

竹内秀孝	竹内優子	竹内重之	竹内千鶴子	小林絹子	小林貴美枝	小林栄	折谷達志	折谷美宝子	宇津加代子	笹川地区	水島祐美子	水島正明	水島小枝子	水島喜美子	松本芳和	平崎淳子	浜川美智子	長津克明	九里千英美	加藤京子	加藤真仁	嘉義美也子	青島幸照	宮崎地区	水島栄一	水島ひと美	水島勝広	水島和佳子	水島成治	水島智仁	水島美鈴	水島正人	水島藤範	大野麻理子	大平豊	根建小百合	境地区	
島端俊則	加藤澄夫	中村桂子	殿村和久	佐渡之朗	荒川均	東崎博志	金子広志	大平康子	八木由美子	水島洋子	田中美津子	双川稔	小塚律子	波間正克	寺崎悠子	伊藤光子	泊一区	松原静子	谷口宗次	谷口幸美	竹内清美	山本勲	吉川友枝	近藤学	上井唯	清水剛志	湯上谷敦子	佃文利	小林常雄	勝田見一	巽田典子	坂藤敏子	勝原正文	勝原早苗	勝原美喜子	楠木隆之	南保地区	長井佳子
菊地まり子	稲葉雅美	荒見マユ子	水見記子	鷲吹司	米川久美子	水島康彦	舟木枝	寺崎裕子	寺田武	竹中晋	佐渡澄男	折谷勝幸	水島明美	松永哲治	松下定久	殿村定久	下沢範子	河村良治	伊藤加美子	長谷久美子	光谷光子	山口茂一	上井孝則	下沢英子	大平真理子	泊二区	脇山恭子	在田道弘	丸山桂馬	七居山美子	大崎友治	松下忠夫	堀田悦子	岡崎正和	山田千歳	中易典子		
松岡栄	三井真智子	山田マリ子	大村明子	大村波子	藤川真知子	藤川久美子	坂東英樹	橋本英樹	水野素子	用見武志	本村健雄	上師耀子	草島利彦	大村美慈子	平坂祐一	谷口恵子	黒坂寿子	黒坂裕彦	平坂俊之	西川康弘	佐渡節子	小坂美千子	鍛冶勝	河村景子	松本美智子	府本悦子	塚本かおる	谷井洋子	菅井一美	魚津友明	石井八重子	越間浩一	泊三区	松岡恭司	篠川三和子			
道分久美子	水野美智子	西野彰	中野貴和子	長井まき子	数家敏	河村章	山手美幸	長能清揚	南茂妙子	田中美智子	近藤比富美	河内和憲	鍛冶貢	大久保康紀	五箇庄地区	大井義和	水野とし子	赤川幸子	石井幸子	磯部淳子	沢岡律子	沢岡千代美	藤井久子	愛場和美	仙名久子	舟本秀子	青木由美子	阿部つや子	池島秀子	石川君子	浦田直美	小林みさ子	谷山洋子	土田とみ子	西川光子	長谷川京子	平野ハル	
道下文明	堀川英子	吉田悟	藤田博史	山田ひろみ	清水和美	山崎映子	藤井幸子	藤井富久子	岡田範夫	門口陽子	住吉柳子	清水清隆	窪野隆	金吉礼子	大井義和	水野とし子	水野早苗	長津早苗	扇子久美子	浜川美由紀	浜川啓輔	新田英雄	佐渡清枝	岡島正一	吉江朋子	広田慎一郎	高島千恵子	高島良子	藤田美鈴	佐渡順治	笹原靖直	大沢清彦	大沢堅志	折戸郁夫	西田益美			
小杉義広	大倉敏子	目附和久	松田保子	山本穂子	柳沢富美子	渡辺孝実	湯口正志	古市直子	清水直子	上村裕一	上村悦子	鹿熊智明	大森紀代美	江端文男	井森幸子	水野加代子	水野欣子	水野洋子	水野茂	長津早苗	扇子久美子	大藏雄児	青島三和子	山崎地区	堂用智子	大久保文江	稲荷京子	井口孝子	広川裕美子	広川由美子	稲垣輝夫	青木朋子	前川元久	前川勤子	藤田美雪	右井真須美	水島秀信	



△河原で開くべんとくに  
ナメコ汁の味はまた格別▽

**観光**  
すばらしかった  
北又谷  
紅葉狩ハイキング

朝日町観光協会主催の、県立自然公園「北又谷紅葉狩りハイキング」は、好天に恵まれた十月二十六日、約四十名の参加を得て行なわれました。雲ひとつない秋晴れの中、小川温泉元湯からバスにゆられて越道峠へ。越道峠周辺は今が盛りと紅葉を誇り、一同思わず感嘆の声をあげていました。

越道峠からは北又谷に向けて、深まる秋を満喫しながらのハイキング、清流の北又川原でのナメコ汁に舌つみをうち、ナメコ狩りに、あるいは峡谷の探勝に思い思いに楽しいひとときを過ごしました。

# 建設

## 着々と進む 流雪溝建設工事 雪のない 市街地をめざして



町内流雪溝の本年度工事は、県営事業として深松組により一部弥生町通りの分が完成しましたが、下町地内の流雪溝も、去る八月三十一日から、高島建設の手により、全区間六百七十三万円で落札され工事が行われています。

この工事は、当初木流川から西へ一七八メートルの区間でありましたが、途中計画を変更して下町全域に延長され、現在全区間ができ上り、目下降雪期を控え急ピッチで仕上げ工事が進められている。

△写真は下町流雪溝工事▽

# 文化

## 本年度の 文化祭行事を かえりみて

本年度朝日町各地においていろいろの文化的行事が行われましたが、中でも泊公民館を中心とした文化祭行事は、本年度で二十四回を数え、その種目も、郷土作家美術展をはじめとしてその数十五種目にも及びました。

本年の特色は特殊なものを除いて、会期を十一月三日～五日の三日間にしほり、同一会場に多くの催物が行われたため、多数の観客動員ができたことでありましょう。

この多くの種目を取りまとめて発表まで運んだ泊公民館関係者各位の努力と労苦は並々ならぬものがあり、特に各グループの連絡交渉や実施に当たっての調整など各番議員がそれぞれ部門を分担して責任をもち



、主事と共に後任末まで見届けるという周到さに頭が下りました。明年度の運営につきましては、予算措置もさることながら、中央公民館あるいは教育委員会の主催共催等も考えられ何らかの整理が必要であり、また、未発表グループの育成と参加にも力を注ぐ必要が考えられます。

△写真は発表会第一番の邦楽演奏会スナップ▽

## 第五回 富山県青年の船 団員募集

- ◆派遣先 中華人民共和国
- ◆派遣期間 昭和五十年四月二日から四月十八日まで
- ◆個人負担経費 一人約七万円
- ◆応募資格 日本の国籍を有し、富山県に一年以上在住する満二十才以上二十九才までの男女(昭和二十年四月二日昭和三十年四月一日までに生まれた者)
- ◆募集締切日 昭和四十九年十二月二十五日(十二月二十五日午後五時までに、作文申込書等必要書類を提出するものとします。)
- ◆面接 十二月十七日(金)午後一時 朝日町議会議場
- ◆申込先 朝日町教育委員会
- ◆応募申込用紙 等は朝日町教育委員会にあります。
- ◆くわしいことは、朝日町教育委員会(②一〇四)へお問い合わせください。

## 朝日町

### 自衛隊父兄会発足

朝日町出身の自衛隊員の激励と、合わせて父兄の親睦を図ることを目的として、十月二十六日、福祉センターで朝日町自衛隊父兄会の設立総会が開催されました。当日、自衛隊富山地方連絡部及び来賓のあいさつのもと、規約、役員の出事業計画等をききました。

尚、新役員は次の方々です。

- 会長 安達義雄(山崎)
- 副会長 竹内徳二(笹川)
- 理事 小坂与一(泊)
- 理事 杉本清治(大塚)
- 監事 長津亮充(山崎)
- 水島繁(境)
- 根建森義(泊)
- 藤田正(大塚)

### 相談(と)案内

- ▽行政相談  
日時 毎月第一火曜日  
午前十時～午後三時  
場所 朝日町福祉センター
- ▽人権法律相談  
日時 十二月十七日  
午前十時～午後三時  
場所 朝日町福祉センター
- ▽心配ごと相談  
日時 毎週火曜日  
午前十時～午後三時  
場所 朝日町福祉センター
- TEL 三〇五七六

## 郵便局たより

### 年賀状や年末の 小包の発送について

◆十二月十五日の日曜日には家族みんなで年賀状を書きましよう。  
ことしも十二月十五日から年賀状の受付が始まります。早めに準備して楽しく心のこもった年賀状を作りましよう。  
そして元日に先方に届くよう十二月二十日までに、おそくとも十二月二十二日までは出しましよう。  
◆郵便番号は住所の一部です。正しくはつきりと必らずお書きください。  
なお、あなたの住所にも郵便番号をお書きください。  
◆あて名ははつきり正確に、特にアパート等にお住まいの方。同居、下宿の方、お子さまなどにあてるときは、肩書きを省略しないで必らず書いてください。  
◆年賀状を出されるときは、「泊局区内あて」「舟見局区内あて」「富山県内あて」「県外あて」などと書いた紙片を上にしてたばね、郵便局の窓口にお出し下さい。  
◆小包は早く、年末の小包は十二月十三日、おそくとも十二月十五日までには出しましよう。  
◆年賀状の配達についてご協力を、元日には仕事を休む事務所、商店がありますが、扉、シヤッターが閉まっていると、配達が困難であるばかりでなく、郵便物がよごれたりなくなったりします。郵便受箱のなご事務所、商店などは必らずシヤッターなどを開けておくようご協力ください。

### 善意の預託

#### 朝日町善意銀行

次のかたがたから、朝日町善意銀行へ貴重な善意を預託されました。ここに厚くお礼申しあげます。

**櫻町 上野 道徳殿**  
交通事故被害見舞金を社会福祉の増進に役立てて下さいと持参されたもの  
参万円也

**幸町 大和マツエ殿**  
みなさまにいろいろと大変お世話になりました。お蔭さまで長男が結婚をして一人前になりました。そのよろこびとお礼の言葉に添えて持参されたもの  
式万円也

**東三浦町 波間豊太郎殿**  
逝くなられた奥さんのみよさんの供養のため、香典返しの一部を社会福祉の増進にと持参されたもの  
壹万円也

**三枚橋 藤井庄作殿**  
長男の正明さんが結婚をされましたので、そのよろこびを社会福祉のために持参されたもの  
壹万円也

**荒川 横山純子殿 横山耕一殿**  
恵まれない人達のために役立てて下さいと泊小学校四年生と二年生の姉弟が持参されたもの  
十万円也

**長野 川上留安殿**  
去る八月六日長女川上香代子さん(18才)が不慮の交通事故にあい、

その際多数の町民のみなさんからの献金を受けましたが、そのかいもなく亡くなられました。当時多数の方々から善意に心からの感謝の文を寄せられましたのでその旨広報九月号に紹介しましたが、このたび、さらに当時の献金された方に対する感謝と、再びこのよくな事故のないことの祈りをこめて、福祉事業の一助にとの尊い善意が寄せられました。

### 学校への寄贈

**〇五ヶ庄小学校へ**  
魚津市 追分孝典氏から故尊父栄存さんの遺志として応接セット  
五点

**〇宮崎小学校へ**  
大宮市 水島与一氏から九谷焼花鳥飾壺一個

**〇境小学校へ**  
境 水島和之氏からしゆろその他樹木六点と植樹作業奉仕

### 歳末たすけあい運動に協力を

恵まれない人達もみんなそろって明るいお正月を迎えていただくため今年もまた歳末たすけあい運動が始められております。  
町民のみなさまの温いご協力を心からお願ひ申しあげます。

昨年と同よう「愛の袋」により一世帯二〇〇円以上を目標と致しております。

### おめでたと おくやみ

(昭和四十九年十一月十五日現在)

#### 出生 (おすこやかに)

- 〇境 水島文明 長女 重希
- 〇笹川 竹内洋志 長男 重希
- 〇横尾 藤井芳和 長女 重希
- 〇横尾 藤井芳和 2女 有希
- 〇泊尾 大高勇 長女 美樹
- 〇泊保 折谷邦男 長男 宏信
- 〇沼保 南野守宏 3男 敏之
- 〇沼保 大門雅弘 長女 真美
- 〇道下 柳下則雄 2男 正則
- 〇道下 佐渡勇 長女 美佳
- 〇荒川 大倉久信 長女 千歳
- 〇平柳 折戸和夫 長女 美和
- 〇東草野 水島金也 3女 晶子
- 〇桜町 追分富男 長女 晴名
- 〇赤川 佐渡昭夫 長男 道義
- 〇南保 松下肇 長女 智恵
- 〇殿町 江端弘和 長女 佳恵
- 〇横水 渡辺和雄 長女 明子
- 〇宮崎 水島胤昭 長女 希
- 〇泊 松田良子 長女 重希
- 〇山崎 久保田利彦 長女 重希
- 〇小杉町 坪田富子 長女 重希
- 〇大家庄 森木昇 長女 重希
- 〇荒川 玉島涼子 長女 重希
- 〇山崎 青島周作 長女 重希
- 〇黒部市 能登文子 長女 重希
- 〇宮崎 竹谷倫子 長女 重希
- 〇荒川 大平美知子 長女 重希
- 〇桜町 田中幸彦 長女 重希
- 〇滑川市 新村恭枝 長女 重希
- 〇宮崎 扇谷邦英 長女 重希
- 〇宮崎 九里通代 長女 重希
- 〇宮崎 扇谷道雄 長女 重希
- 〇新島県 吉川須美子 長女 重希
- 〇蛭谷 谷口正美 長女 重希
- 〇郡山市 佐藤義子 長女 重希
- 〇道下 岩田光博 長女 重希
- 〇入善町 林紀子 長女 重希
- 〇平柳 谷川勉 長女 重希
- 〇東京都 布市妙子 長女 重希
- 〇草野 広田策征 長女 重希
- 〇大家庄 大久保雅子 長女 重希
- 〇殿町 上村喜章 長女 重希
- 〇南保 谷美恵子 長女 重希
- 〇沼保 平木義久 長女 重希
- 〇魚津市 人森幸子 長女 重希
- 〇桜町 南部時春 長女 重希
- 〇桜町 南部輝子 長女 重希
- 〇山崎 九里幹夫 長女 重希
- 〇黒部市 前本恵子 長女 重希
- 〇道下 小竹秀夫 長女 重希
- 〇横尾 藤沢喜代美 長女 重希
- 〇山崎 山本光夫 長女 重希
- 〇宇奈月町 佐々木よしみ 長女 重希
- 〇境 水島和彦 長女 重希
- 〇入善町 米田洋子 長女 重希
- 〇山崎 中野義博 長女 重希
- 〇南保 南部美雪 長女 重希
- 〇笹川 長井明夫 長女 重希
- 〇秋田県 佐々木光子 長女 重希
- 〇三枚橋 藤井正明 長女 重希
- 〇入善町 寺林弘子 長女 重希
- 〇下野 大野三葉 長女 重希
- 〇旭川市 門脇佳代子 長女 重希
- 〇泊 岡枝和朗 長女 重希
- 〇富山市 井伊たか子 長女 重希

#### 死亡 (おくやみ申しあげます)

- 〇山崎 久保田敏
- 〇舟川新 藤田淳子
- 〇平柳 平坂慎一
- 〇黒部市 村瀬久美子
- 〇宮崎 松本初枝(47)
- 〇泊 水島外松(62)
- 〇泊 波間みよ(74)
- 〇平柳 酒井幸次郎(63)
- 〇道下 中陣源二(71)
- 〇東草野 上沢清次郎(81)
- 〇桜町 窪田とみ(66)
- 〇月山 寺田友治(69)
- 〇石谷 殿村つや(73)
- 〇山崎 秋山つた(75)
- 〇大家庄 沢崎源治(70)
- 〇三枚橋 藤田千代(85)
- 〇窪田 広川芳次郎(78)

### 11月の町内交通事故数

月	件数	死者	負傷者
11月	68	1	87
11月	3	0	3
本年累計	71	1	90

編集兼発行 朝日町役場  
印刷所 高田印刷  
送料 十二円  
定価 六円  
郵便番号 九三九一〇七